

Ⅸ 調査試験関係



新神楽橋

忠別川に架かり、平成15年に開通。「北彩都あさひかわ」整備事業の一環として建設され、国道39号と国道237号を直結する。

Ⅸ 調査試験関係

1 大雪湖水質調査

(1) 概況

大雪湖水質調査は、ダムに流入する石狩川源流、ダム表層、中層、深層、放流水（清瀬橋）及び永山取水施設で調査を行った。

調査時のダムの状況は、6月が貯水量 $25,999 \times 10^3 \text{m}^3$ 、貯水率55.5%と前年と比較して、貯水率が低い状態であった。9月は貯水量 $16,330 \times 10^3 \text{m}^3$ 、貯水率66.8%と前年と比較して、貯水率が高い状態であった。

採水した6地点について、石狩川源流、ダム放流水及び永山取水施設は「生活環境の保全に関する環境基準（河川）」、大雪湖水については、類型指定がされていないことから、参考として「生活環境の保全に関する環境基準（湖沼）」の類型AAと比較した。

ア 6月の調査

(ア) 石狩川について

- ・石狩川源流及びダム放流水、永山取水施設は類型AAの基準を満たす数値であった。
- ・ダム放流水と永山取水施設において、臭気物質であるジェオスミンが検出された。

(イ) 大雪湖について

- ・いずれの層においてもCODについて類型Aの基準を満たしていた。
- ・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、カルシウムマグネシウム等、全窒素の値は表層から深層に行くにしたがって上昇していく傾向にあった。

イ 9月の調査

(ア) 石狩川について

- ・石狩川源流及びダム放流水、永山取水施設は類型AAの基準を満たす数値であった。

(イ) 大雪湖について

- ・いずれの層においてもCODについて類型Aの基準を超過していた。
- ・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の値は表層から深層に行くにしたがって上昇していく傾向にあった。

生活環境の保全に関する環境基準(河川)							採水地点(上流、大雪湖、忠別湖水質調査)の類型	
類型	利用目的の 適応性	基準値					石狩川	忠別川
		水素イオン濃度 (pH値)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素 量(DO)	大腸菌群 数		
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN/ 100mL 以下	石狩川源流 ダム放流水 北鎮橋	(該当なし)
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN/ 100mL 以下	菊水橋 中愛別橋 愛別橋 麻布橋 永山取水施設	忠別川源流 志比内橋 東橋 東聖橋 忠別川浄水場 取水口
生活環境の保全に関する環境基準(湖沼) 参考※								
類型	利用目的の 適応性	基準値						
		水素イオン濃度 (pH値)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素 量(DO)	大腸菌群 数		
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	1mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN/ 100mL 以下		
A	水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN/ 100mL 以下		

※ 湖沼の環境基準は類型指定された水域の表層に適用される。
なお大雪湖・忠別湖ともに湖沼の環境基準の類型は指定されていない。

(3) 調査結果

令和 7 年 6 月 26 日 採水

採水地点 検査項目	①	②			③	④
	石狩川源流	表層	中層(15m)	深層(30m)	ダム放流水 (清瀬橋)	永山取水施設 (石狩川浄水場 取水口)
採水時刻	11時00分	10時25分	10時35分	10時30分	11時25分	9時35分
水温	13.7	15.4	6.5	5.9	16.5	16.5
大腸菌MPN	1.8未満	7.8	2.0	1.8未満	33	17
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.10未満	0.10未満	0.17	0.25	0.13	0.29
鉄及びその化合物	0.03	0.16	0.09	0.18	0.03	0.34
マンガン及びその化合物	0.002	0.012	0.007	0.022	0.003	0.034
塩化物イオン	1.2	1.3	1.7	2.0	1.2	2.5
カルシウム、マグネシウム等	11.5	12.0	13.5	15.5	27.5	21.0
蒸発残留物	47	47	48	53	60	69
ジェオスミン	0.000001未満	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.5	1.4	1.1	1.4	1.1	1.0
pH値	7.5	7.6	7.2	7.2	7.7	7.3
色度	1	5	5	7	2	6
濁度	1.2	7.5	4.0	5.1	0.6	6.4
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.03
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	9.0	9.8	10.3	10.1	8.6	9.4
COD	1.0	2.4	2.0	2.3	2.1	2.9
BOD	0.5未満	0.9	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1.0
SS	1	5	3	3	1未満	9
全窒素	0.18	0.18	0.28	0.36	0.24	0.46
全リン	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01未満	0.03
溶性ケイ酸	21.6	16.2	16.5	16.6	14.3	20.2
硫酸イオン	4.1	4.1	4.4	4.8	7.2	9.1
電気伝導率	40	39	43	47	72	65

令和7年9月25日 採水

採水地点 検査項目	①	②			③	④
	石狩川源流	表層	中層(25m)	深層(50m)	ダム放流水 (清瀬橋)	永山取水施設 (石狩川浄水場 取水口)
採水時刻	11時00分	10時30分	10時40分	10時35分	11時20分	11時15分
水温	9.1	13.2	11.4	10.2	9.7	12.3
大腸菌MPN	13	11	49	26	7.8	33
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.10未満	0.10未満	0.12	0.14	0.21	0.31
鉄及びその化合物	0.04	0.14	0.38	0.26	0.06	0.30
マンガン及びその化合物	0.003	0.013	0.022	0.022	0.003	0.017
塩化物イオン	1.4	1.6	1.6	1.6	1.6	2.5
カルシウム、マグネシウム等	19.0	17.0	16.5	16.5	18.0	23.5
蒸発残留物	61	61	70	66	60	77
ジェオスミン	－	－	－	－	－	－
2-メチルイソボルネオール	－	－	－	－	－	－
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.8	1.8	2.6	2.1	1.3	1.2
pH値	7.4	7.5	7.3	7.3	7.6	7.4
色度	2	7	14	10	4	6
濁度	1.2	5.6	16	12	2.5	9.6
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	10.4	9.0	9.2	9.4	10.4	11.2
COD	2.0	3.3	5.0	4.1	2.6	2.6
BOD	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7
SS	2	3	9	8	2	9
全窒素	0.19	0.24	0.37	0.34	0.31	0.45
全リン	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01未満	0.02
溶性ケイ酸	25.7	20.4	19.5	20.1	13.1	22.2
硫酸イオン	4.7	5.0	4.7	5.0	7.0	10.9
電気伝導率	50	52	50	52	72	74

(2) 調査地点図



2 忠別湖水質調査 ※類型の評価は大雪湖水質調査参照

(1) 概況

忠別湖水質調査はダムに流入する忠別川源流、ダム表層、中層、深層、ダム下流の志比内橋及び忠別川浄水場取水口で調査を行った。調査時のダムの状況は、7月は貯水量 $43,624 \times 10^3 \text{ m}^3$ 、貯水率72%、10月は貯水量 $41,432 \times 10^3 \text{ m}^3$ 、貯水率68.1%といずれも前年よりも多かった。

採水した6地点について、忠別川源流、志比内橋及び忠別川浄水場取水口は「生活環境の保全に関する環境基準(河川)」、忠別湖水については、類型指定がされていないことから、参考として「生活環境の保全に関する環境基準(湖沼)」の類型AA[※]と比較した。

ア 7月の調査

(ア) 忠別川について

- ・ 忠別川源流及び志比内橋、忠別川浄水場取水口は、類型AA基準を満たす数値であった。
- ・ 志比内橋及び忠別川浄水場取水口において、臭気物質であるジェオスミンが検出された。

(イ) 忠別湖について

- ・ いずれの層においてもSSが類型Aの基準を満たしていた。
- ・ マンガン及びその化合物、全窒素の値は表層から深層に行くにしたがって上昇していく傾向にあった。

イ 10月の調査

(ア) 忠別川について

- ・ 忠別川源流及び志比内橋は、BODが類型AAの基準を超過していたが、忠別川浄水場取水口はすべての項目において、類型AA基準を満たしていた。

(イ) 忠別湖について

- ・ いずれの層においてもCODについて、類型AAの基準を超過していた。
- ・ マンガン及びその化合物は表層から深層に行くにしたがって上昇していく傾向にあった。

(3) 調査結果

令和7年7月24日 採水

採水地点 検査項目	①	②			③	④
	忠別川源流	表層	中層(15m)	深層(30m)	東神楽町 志比内橋	忠別川浄水場 取水口
採水時刻	9時50分	10時35分	10時45分	10時40分	10時00分	11時20分
水温	17.2	20.4	9.2	6.5	19.1	21.4
大腸菌MPN	17	13	4.5	6.8	49	17
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.15	0.10未満	0.15	0.25	0.10未満	0.30
鉄及びその化合物	0.03	0.08	0.04	0.05	0.11	0.11
マンガン及びその化合物	0.004	0.014	0.020	0.059	0.017	0.019
塩化物イオン	4.3	5.8	5.0	6.3	5.7	6.0
カルシウム、マグネシウム等	22.5	27.0	22.0	29.0	26.5	31.0
蒸発残留物	73	82	68	81	83	89
ジェオスミン	0.000001未満	0.000002	0.000001未満	0.000001未満	0.000001	0.000001
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.5	1.1	0.7	0.8	1.0	0.9
pH値	7.3	7.4	7.1	7.1	7.4	7.3
色度	2	5	2	2	5	5
濁度	0.6	4.2	3.5	2.1	7.3	4.5
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1	1未満
DO	9.0	9.2	9.8	9.6	9.0	8.5
COD	1.2	2.2	1.6	1.7	1.8	2.2
BOD	0.6	0.7	0.5未満	0.5未満	0.7	1.0
SS	1未満	2	3	2	4	4
全窒素	0.24	0.19	0.27	0.36	0.22	0.41
全リン	0.01未満	0.01	0.01未満	0.01未満	0.01	0.02
溶性ケイ酸	23.3	20.1	16.5	19.6	19.4	20.9
硫酸イオン	18.1	21.4	17.0	20.0	20.9	21.5
電気伝導率	83	93	79	99	94	103

令和 7 年 10 月 2 日 採水

採水地点 検査項目	①	②			③	④
	忠別川源流	表層	中層(15m)	深層(30m)	東神楽町 志比内橋	忠別川浄水場 取水口
採水時刻	9時45分	10時25分	10時35分	10時30分	9時40分	10時45分
水温	12.6	14.4	12.9	6.7	13.0	13.9
大腸菌MPN	22	1.8未満	4.5	4.0	2.0	7.8
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.17	0.11	0.13	0.27	0.13	0.17
鉄及びその化合物	0.07	0.03	0.06	0.06	0.05	0.06
マンガン及びその化合物	0.004	0.031	0.042	0.170	0.044	0.021
塩化物イオン	3.4	6.9	6.8	6.1	6.6	6.6
カルシウム、マグネシウム等	18.0	34.0	33.5	31.0	33.0	34.0
蒸発残留物	67	93	95	83	92	91
ジェオスミン	0.000001	0.000001	0.000001	0.000001未満	0.000001	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000002	0.000003
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8
pH値	7.4	7.4	7.3	6.9	7.4	7.4
色度	4	2	3	2	3	3
濁度	0.5	0.8	1.7	1.3	1.6	1.5
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	10.2	9.7	9.4	8.5	10.3	9.8
COD	1.7	1.6	1.7	2.0	1.6	1.7
BOD	1.1	0.8	1.0	1.1	1.4	0.9
SS	1未満	1未満	1	1	1	2
全窒素	0.27	0.20	0.28	0.38	0.24	0.26
全リン	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
溶性ケイ酸	25.8	24.5	24.3	19.2	22.7	23.5
硫酸イオン	9.4	24.3	24.1	19.1	23.1	22.9
電気伝導率	64	113	113	100	109	112

(2) 調査地点図



3 石狩川上流水質調査 ※類型の評価は大雪湖水質調査参照

(1) 概況

石狩川上流水質調査は、大雪湖下流の北鎮橋から永山取水施設までの6地点で採水を行った。

石狩川上流域は数箇所ですれ支流と合流するため、季節によって融雪水、周辺水田からの農業排水、降雨時の濁水による影響を受けやすい。

採水した6地点において、水質環境の指標であるpH値、BOD、SS及びDOについて見ると、一部のBODを除いて「生活環境の保全に関する環境基準(河川)」の各類型AA※を満たす数値であった。

ア 6月の調査

全ての地点でジェオスミンが検出された。

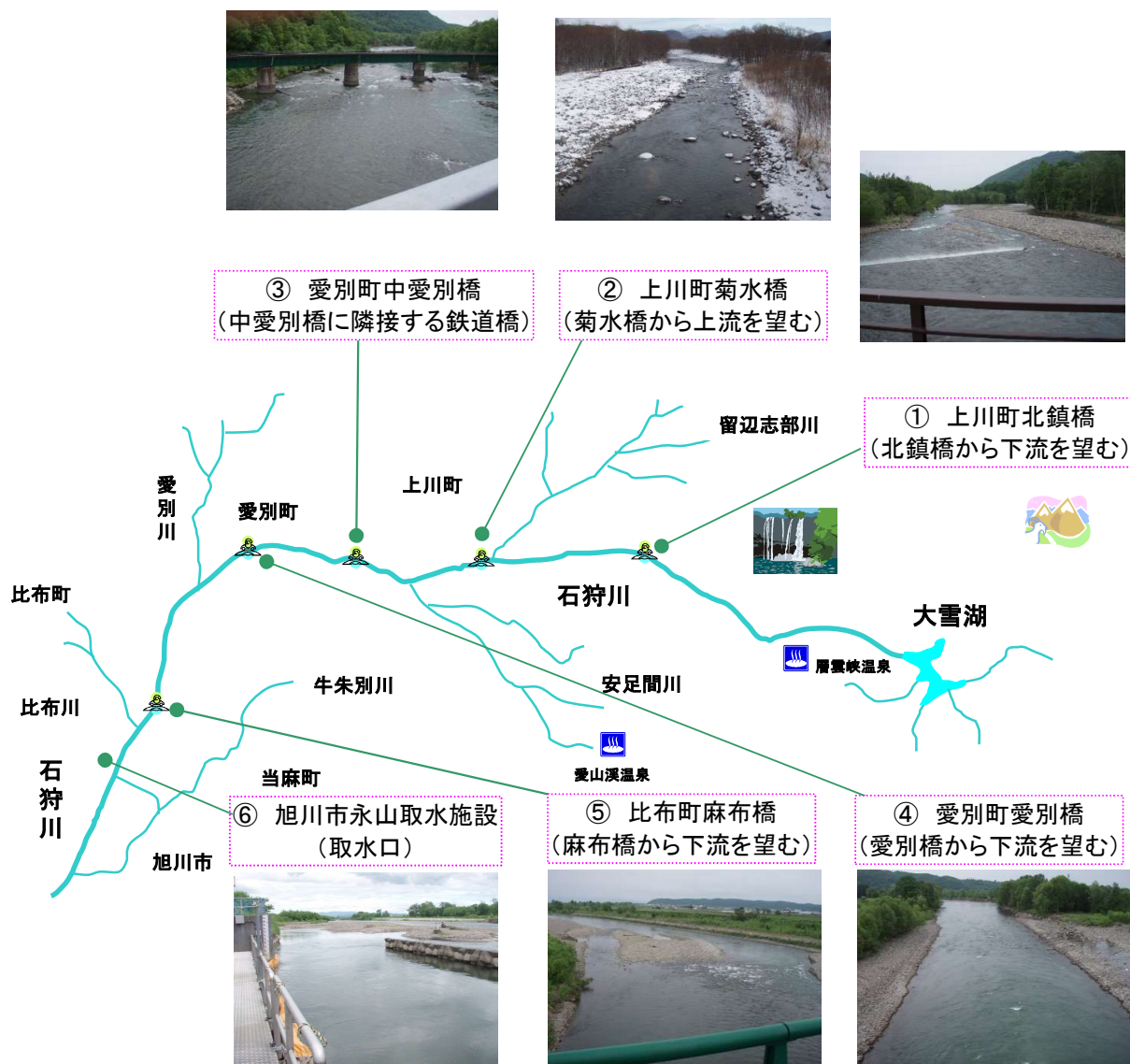
イ 11月の調査

BODは全ての地点で1未満でアンモニア態窒素の値も低かった。

ウ 3月の調査

前年度と比べて全ての地点で大腸菌MPNの値が低かった。

(2) 調査地点図



(3) 調査結果
令和7年6月18日 採水

採水地点 検査項目	① 上川町 北鎮橋	② 上川町 菊水橋	③ 愛別町 中愛別橋	④ 愛別町 愛別橋	⑤ 比布町 麻布橋	⑥ 旭川市 永山取水施設 (石狩川浄水場 取水口)
採水時刻	9時55分	10時15分	10時40分	11時05分	11時30分	11時50分
水温	11.3	11.3	12.2	12.5	13.6	14.7
大腸菌MPN	130	49	11	33	4.5	7.8
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.10未満	0.10未満	0.13	0.13	0.15	0.18
鉄及びその化合物	0.35	0.35	0.27	0.32	0.31	0.29
マンガン及びその化合物	0.019	0.018	0.017	0.018	0.018	0.027
塩化物イオン	1.4	1.4	1.6	1.7	1.8	2.1
カルシウム、マグネシウム等	17.0	15.5	16.0	15.5	16.0	19.0
蒸発残留物	62	62	63	66	65	65
ジェオスミン	0.000001	0.000001	0.000001	0.000001	0.000001	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.0
pH値	7.3	7.4	7.4	7.4	7.4	7.5
色度	3	3	4	4	4	5
濁度	11	11	11	11	11	8.8
アンモニア態窒素	0.03	0.02未満	0.02	0.02未満	0.02未満	0.02
嫌気性芽胞菌	1	1未満	3	1未満	2	1未満
DO	10.1	10.1	10.4	10.4	10.6	10.1
BOD	0.9	1.0	1.4	1.1	1.1	1.3
SS	16	16	15	16	16	13
全窒素	0.32	0.27	0.32	0.33	0.35	0.35
全リン	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01
溶性ケイ酸	18.3	18.1	18.8	18.9	18.6	18.6
硫酸イオン	8.2	7.9	7.7	7.6	7.8	8.0
遊離炭酸	1.9	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7
電気伝導率	48	48	50	50	52	58

令和 7 年 11 月 6 日 採水

採水地点 検査項目	① 上川町 北鎮橋	② 上川町 菊水橋	③ 愛別町 中愛別橋	④愛別町 愛別橋	⑤ 比布町 麻布橋	⑥ 旭川市 永山取水施設 (石狩川浄水場 取水口)
採水時刻	10時15分	10時30分	10時50分	11時15分	11時35分	11時55分
水温	5.3	5.6	6.2	5.6	5.6	5.9
大腸菌MPN	4.5	4.0	4.5	4.5	17	4.5
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.25	0.28	0.42	0.43	0.49	0.51
鉄及びその化合物	0.33	0.42	0.28	0.30	0.34	0.35
マンガン及びその化合物	0.036	0.039	0.026	0.025	0.027	0.027
塩化物イオン	2.3	2.3	2.6	2.7	2.9	3.1
カルシウム、マグネシウム等	24.5	24.0	21.5	20.5	21.0	21.0
蒸発残留物	79	73	75	75	75	78
ジェオスミン	—	—	—	—	—	—
2-メチルイソボルネオール	—	—	—	—	—	—
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1
pH値	7.4	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
色度	5	5	4	5	5	5
濁度	8.7	9.5	7.3	8.7	10	11
アンモニア態窒素	0.04	0.02	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	11.9	11.9	12.0	12.0	12.2	12.0
BOD	0.9	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7
SS	8	10	7	9	9	13
全窒素	0.42	0.41	0.55	0.57	0.60	0.61
全リン	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03
溶性ケイ酸	24.7	23.8	22.3	22.3	21.7	21.3
硫酸イオン	11.9	12.0	9.3	9.0	8.5	8.4
遊離炭酸	2.6	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5
電気伝導率	75	73	67	67	67	72

令和 8 年 3 月 18 日 採水

採水地点 検査項目	① 上川町 北鎮橋	② 上川町 菊水橋	③ 愛別町 中愛別橋	④愛別町 愛別橋	⑤ 比布町 麻布橋	⑥ 旭川市 永山取水施設 (石狩川浄水場 取水口)
採水時刻	9時50分	10時10分	10時50分	11時10分	11時30分	11時50分
水温	3.1	3.1	3.1	3.1	3.9	4.3
大腸菌MPN	1.8未満	1.8未満	4.5	2.0	2.0	2.0
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.27	0.25	0.70	0.37	0.42	0.50
鉄及びその化合物	0.04	0.30	0.11	0.26	0.27	0.27
マンガン及びその化合物	0.008	0.055	0.029	0.046	0.043	0.043
塩化物イオン	2.6	2.9	4.2	3.6	4.0	4.9
カルシウム、マグネシウム等	24.0	26.0	22.5	25.5	25.5	27.0
蒸発残留物	83	90	64	87	85	86
ジェオスミン	—	—	—	—	—	—
2-メチルイソボルネオール	—	—	—	—	—	—
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.7	0.8	1.2	0.8	0.9	0.8
pH値	7.5	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
色度	1	2	4	2	3	3
濁度	0.7	3.0	0.7	2.4	2.3	2.2
アンモニア態窒素	0.02未満	0.05	0.03	0.04	0.04	0.02
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	12.4	12.2	13.0	12.6	12.6	12.5
BOD	1.5	1.5	1.4	1.6	1.6	1.5
SS	1未満	4	1未満	3	3	3
全窒素	0.32	0.33	0.73	0.43	0.47	0.54
全リン	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02
溶性ケイ酸	32.7	31.1	16.4	28.8	27.0	25.9
硫酸イオン	12.8	16.2	7.3	13.3	12.3	12.1
遊離炭酸	2.2	2.1	1.8	2.4	1.9	2.2
電気伝導率	82	89	75	88	87	93

4 忠別川上流水質調査 ※類型の評価は大雪湖水質調査参照

(1) 概況

忠別川上流水質調査は、忠別湖下流の志比内橋、東橋、新東神楽橋及び忠別川浄水場取水口の4地点で採水を行った。

採水した4地点において、水質環境の指標であるpH値、BOD、SS及びDOについて見ると、一部のBOD以外はいずれも「生活環境の保全に関する環境基準(河川)」の類型AA[※]を満たす数値であった。

ア 7月の調査

下流に行くにしたがって硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の値が上昇する傾向が見られた。

イ 10月の調査

ジェオスミンと2-メチルイソボルネオールがいずれの地点においても検出された。

ウ 3月の調査

いずれの地点においても2-メチルイソボルネオールが検出されず、大腸菌MPNの値は低かった。

(2) 調査地点図



(3) 調査結果

令和 7 年 7 月 24 日 採水

採水地点 検査項目	① 東神楽町 志比内橋	② 東神楽町 東橋	③ 東神楽町 新東神楽橋	④ 東神楽町 忠別川浄水場 取水口
採水時刻	10時00分	10時20分	10時50分	11時20分
水温	19.1	20.7	21.1	21.4
大腸菌MPN	49	49	17	17
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.10未満	0.10	0.16	0.30
鉄及びその化合物	0.11	0.10	0.09	0.11
マンガン及びその化合物	0.017	0.017	0.017	0.019
塩化物イオン	5.7	5.8	5.8	6.0
カルシウム、マグネシウム等	26.5	27.0	27.5	31.0
蒸発残留物	83	83	83	89
ジェオスミン	0.000001	0.000001未満	0.000001未満	0.000001
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	1.0	1.1	1.1	0.9
pH値	7.4	7.4	7.3	7.3
色度	5	5	5	5
濁度	7.3	5.1	4.2	4.5
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1	1未満	1未満	1未満
DO	9.0	8.4	8.3	8.5
BOD	0.7	1.1	1.1	1.0
SS	4	4	3	4
全窒素	0.22	0.27	0.31	0.41
全リン	0.01	0.01	0.02	0.02
溶性ケイ酸	19.4	20.0	20.7	20.9
硫酸イオン	20.9	20.8	21.0	21.5
遊離炭酸	1.7	1.8	1.8	1.8
電気伝導率	94	92	97	103

令和 7 年 10 月 2 日 採水

採水地点 検査項目	① 東神楽町 志比内橋	② 東神楽町 東橋	③ 東神楽町 新東神楽橋	④ 東神楽町 忠別川浄水場 取水口
採水時刻	9時40分	10時00分	10時20分	10時45分
水温	13.0	13.6	14.1	13.9
大腸菌MPN	2.0	13	4.5	7.8
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.13	0.14	0.15	0.17
鉄及びその化合物	0.05	0.06	0.06	0.06
マンガン及びその化合物	0.044	0.030	0.023	0.021
塩化物イオン	6.6	6.6	6.6	6.6
カルシウム、マグネシウム等	33.0	33.0	33.0	34.0
蒸発残留物	92	92	91	91
ジェオスミン	0.000001	0.000002	0.000002	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.000002	0.000003	0.000003	0.000003
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.8	0.8	0.8	0.8
pH値	7.4	7.4	7.5	7.4
色度	3	3	3	3
濁度	1.6	1.7	1.6	1.5
アンモニア態窒素	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	10.3	9.8	10.0	9.8
BOD	1.4	1.3	1.2	0.9
SS	1	2	2	2
全窒素	0.24	0.27	0.30	0.26
全リン	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
溶性ケイ酸	22.7	23.4	23.7	23.5
硫酸イオン	23.1	23.0	23.0	22.9
遊離炭酸	1.8	1.8	1.9	2.0
電気伝導率	109	110	111	112

令和 8 年 3 月 11 日 採水

採水地点 検査項目	① 東神楽町 志比内橋	② 東神楽町 東橋	③ 東神楽町 新東神楽橋	④ 東神楽町 忠別川浄水場 取水口
採水時刻	9時40分	10時05分	10時30分	10時50分
水温	1.9	1.9	1.9	1.9
大腸菌MPN	1.8未満	1.8未満	1.8未満	2.0
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	0.11	0.11	0.12	0.17
鉄及びその化合物	0.09	0.09	0.07	0.07
マンガン及びその化合物	0.045	0.037	0.028	0.028
塩化物イオン	11.4	11.3	11.2	11.2
カルシウム、マグネシウム等	50.0	49.0	51.0	50.0
蒸発残留物	124	123	123	122
ジェオスミン	0.000001未満	0.000002	0.000002	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0.5	0.6	0.6	0.5
pH値	7.5	7.7	7.6	7.5
色度	1	1	1	1
濁度	1.4	1.5	1.3	1.4
アンモニア態窒素	0.02	0.02未満	0.02未満	0.02未満
嫌気性芽胞菌	1未満	1未満	1未満	1未満
DO	13.4	13.2	13.0	13.6
BOD	0.6	0.8	0.6	0.7
SS	1未満	1	1	1
全窒素	0.20	0.20	0.23	0.24
全リン	0.01	0.01	0.01未満	0.01
溶性ケイ酸	30.8	30.7	30.5	30.3
硫酸イオン	36.5	36.0	35.8	35.8
遊離炭酸	1.8	1.8	1.8	2.0
電気伝導率	166	167	166	167

5 生物試験

(1) 石狩川

ア 概要

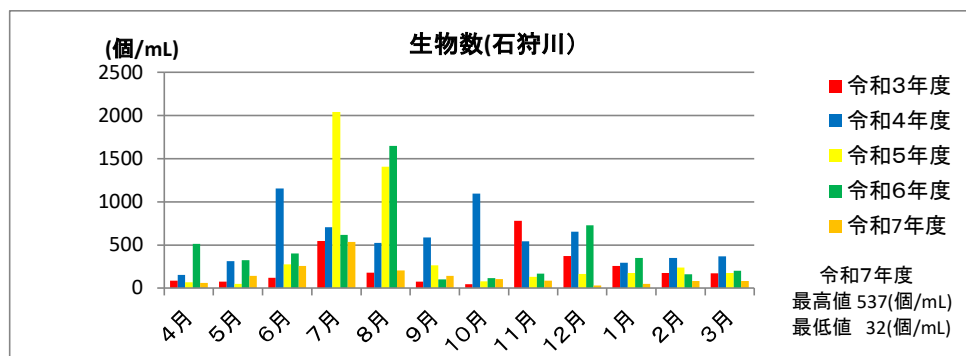
- ・ 石狩川浄水場取水口での年間の生物数は、前年と比べて少なかった。
- ・ 総生物数のほとんどが珪藻類であり、その発生により原水のpHが上昇するため、浄水場ではpH調整を行い、水処理をしている。
- ・ Asterionella、Synedraが年間を通して見られた。
- ・ 年間を通して Asterionellaの出現が多く、次いでSynedra、Diatomaであった。

イ 調査結果

石狩川浄水場取水口

(個/mL)

出現種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
《珪藻類》												
<i>Achnanthes</i>	9	3	6	2	5		2	1	1	5		4
<i>Amphora</i>												
<i>Asterionella</i>	22	6	88	510	173	136	77	81	16	41	32	7
<i>Aulacoseira</i>												
<i>Caloneis</i>												
<i>Ceratoneis</i>	3	21	10	2	1		2		1		2	9
<i>Cocconeis</i>		2	3					1			1	2
<i>Cyclotella</i>												
<i>Cymbella</i>	5	4	3	6	6		3		1			3
<i>Diatoma</i>	6	14	85	6				1		2	5	4
<i>Epithemia</i>												
<i>Fragilaria</i>		4	2									12
<i>Gomphonema</i>		2					3				3	2
<i>Melosira</i>		13	10	4	7	6	1	1	5			1
<i>Meridion</i>												
<i>Navicula</i>	5	2	1	1			1				2	
<i>Nitzschia</i>												
<i>Pinnularia</i>												
<i>Rhoicosphenia</i>												
<i>Surirella</i>												
<i>Synedra</i>	9	69	47	6	13	3	18	3	8	1	36	37
<i>Tabellaria</i>												
小計	59	140	255	537	205	145	107	88	32	49	81	81
《緑藻類》												
<i>Ankistrodesmus</i>												
<i>Chlamydomonas</i>												
<i>Closterium</i>												
<i>Cosmarium</i>												
<i>Coelastrum</i>												
<i>Dictyosphaerium</i>												
<i>Eudorina</i>												
<i>Gloeocystis</i>												
<i>Hormidium</i>												
<i>Mougeotia</i>												
<i>Pandoriana</i>												
<i>Scenedesmus</i>												
<i>Spondylosium</i>												
<i>Staurastrum</i>												
<i>Treubaria</i>												
<i>Ulothrix</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《藍藻類》												
<i>Anabaena</i>												
<i>Microcystis</i>												
<i>Oscillatoria</i>												
<i>Phormidium</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《黄金藻類》												
<i>Dinobryon</i>												
<i>Mallomonas</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《その他》												
<i>Cryptomonas</i>												
<i>Rhabdolaimus</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	59	140	255	537	205	145	107	88	32	49	81	81



(2) 忠別川

ア 概要

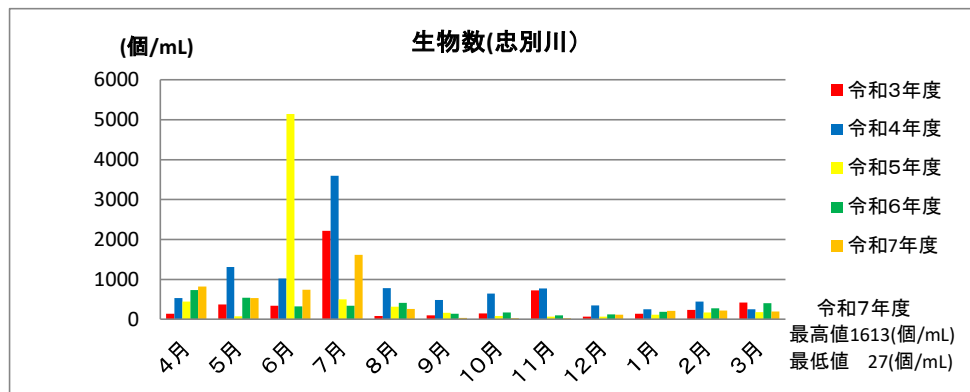
- ・ 忠別川浄水場取水口での年間の生物数は、前年と比べて多かった。
- ・ 総生物数のほとんどが珪藻類であり、その発生により原水のpHが上昇するため、浄水場ではpH調整を行い、水処理をしている。
- ・ Asterionella、Synedraが年間を通して見られた。
- ・ 6、7、8月に Asterionellaの大量発生が見られた。

イ 調査結果

忠別川浄水場取水口

(個/mL)

出現種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
《珪藻類》												
<i>Achnanthes</i>	17	18	3	4	1		2	2		2	4	4
<i>Aulacoseira</i>												
<i>Asterionella</i>	35	13	607	1556	232	1	2	3	82	177	147	33
<i>Caloneis</i>												
<i>Ceratoneis</i>	71	109	20	2	1		1			1	2	2
<i>Cocconeis</i>			1	2		2	4		1	1		2
<i>Cyclotella</i>												
<i>Cymbella</i>	20	5	1	6		2	1	2	2	1	6	1
<i>Diatoma</i>	110	24	39	13		12	8	4	10	17	14	22
<i>Diploneis</i>												
<i>Fragilaria</i>	123	30	19	11							3	102
<i>Gomphonema</i>	3	1	3			1	1		6	5	5	2
<i>Melosira</i>	2	14	14	7	6	16	1	1		5		3
<i>Meridion</i>												
<i>Navicula</i>	4	2	1					2			3	1
<i>Nitzschia</i>												
<i>Pinnularia</i>												
<i>Rhoicosphenia</i>												
<i>Skeletonema</i>												
<i>Surirella</i>												
<i>Synedra</i>	435	316	37	12	20	3	12	13	13	2	33	17
<i>Tabellaria</i>												
小計	820	532	745	1613	260	37	32	27	114	211	217	189
《緑藻類》												
<i>Ankistrodesmus</i>												
<i>Chlamydomonas</i>												
<i>Chlorella</i>												
<i>Closterium</i>												
<i>Cosmarium</i>												
<i>Coelastrum</i>												
<i>Dictyosphaerium</i>												
<i>Eudorina</i>												
<i>Golenkinia</i>												
<i>Hormidium</i>												
<i>Mougeotia</i>												
<i>Oocystis</i>												
<i>Scenedesmus</i>												
<i>Sphaerocystis</i>												
<i>Staurastrum</i>												
<i>Treubaria</i>												
<i>Xanthidium</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《藍藻類》												
<i>Anabaena</i>												
<i>Microcystis</i>												
<i>Oscillatoria</i>												
<i>Phormidium</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《黄金藻類》												
<i>Dinobryon</i>												
<i>Mallomonas</i>												
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	820	532	745	1613	260	37	32	27	114	211	217	189



6 浄水場排水試験

(1) 石狩川浄水場

項 目	最 高	最 低	平 均	回 数	水質汚濁防止法排水基準 許容限度
水温 (°C)	25.3	0.1	13.0	10	—
濁度 (度)	7	6.8	7.1	10	—
pH値	4.4	1.0	1.9	10	5.8以上8.6以下
BOD (mg/L)	1.2	0.5未満	0.4	10	160(日間平均120)
S S (mg/L)	8	1未満	2	10	200(日間平均150)
大腸菌数 (CFU/mL)	1	1未満	1未満	10	日間平均800

(2) 忠別川浄水場

項 目	最 高	最 低	平 均	回 数	水質汚濁防止法排水基準 許容限度
水温 (°C)	23.8	0.0	11.5	12	—
濁度 (度)	7.3	7.0	7.2	12	—
pH値	58.0	1.5	6.9	12	5.8以上8.6以下
BOD (mg/L)	0.7	0.5未満	0.5未満	12	160(日間平均120)
S S (mg/L)	15	2	5	12	200(日間平均150)
大腸菌数 (CFU/mL)	1未満	1未満	1未満	12	日間平均800

7 ゴルフ場使用農薬に伴う調査

石狩川浄水場上流部のゴルフ場1事業場に対し、立入調査を1回実施し、ゴルフ場調整池等の農薬検査を行った。
調査の結果、検査を行った項目については、いずれも定量下限値未満であった。

農薬類(水質管理目標設定項目15)の対象農薬リスト 令和7年10月15日採水

採水地点	ゴルフ場 最終調整池	石狩川 流入口	石狩川浄水場 取水口	石狩川浄水場 送水	目標値 (mg/L)
採水時刻	9:40	9:55	10:35	9:00	
水温	9.7	9.4	9.3	10.5	
遊離残留塩素	—	—	—	0.5	0.1以上
1 1,3-ジクロロプロベン(D-D)	—	—	—	—	0.05
2 2,2-DPA(ダラボン)	—	—	—	—	0.08
3 2,4-D(2,4-PA)	—	—	—	—	0.02
4 EPN	—	—	—	—	0.004
5 MCPA	—	—	—	—	0.005
6 アシュラム	—	—	—	—	0.9
7 アセフェート	—	—	—	—	0.006
8 アトラジン	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
9 アニロホス	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.003
10 アミラズ	—	—	—	—	0.006
11 アラクロール	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
12 イソキサチオン	—	—	—	—	0.005
13 イソフェンホス	—	—	—	—	0.001
14 イソプロカルブ(MIPC)	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
15 イソプロチオラン(IPT)	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.3
16 イブフェンカルバジン	—	—	—	—	0.002
17 イプロベンホス(IBP)	0.0009未満	0.0009未満	0.0009未満	0.0009未満	0.09
18 イミノクタジン	—	—	—	—	0.006
19 インダノファン	0.00009未満	0.00009未満	0.00009未満	0.00009未満	0.009
20 エスプロカルブ	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
21 エトフェンブロックス	0.0008未満	0.0008未満	0.0008未満	0.0008未満	0.08
22 エンドスルファン(ベンゾエピン)	—	—	—	—	0.01
23 オキサジクロメホン	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
24 オキシシン銅(有機銅)	—	—	—	—	0.03
25 オリサストロビン	—	—	—	—	0.1
26 カズサホス	—	—	—	—	0.0006
27 カフェンストロール	0.00008未満	0.00008未満	0.00008未満	0.00008未満	0.008
28 カルタップ	—	—	—	—	0.08
29 カルバリル(NAC)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
30 カルボフラン	—	—	—	—	0.0003
31 キノクラミン(ACN)	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.005
32 キャブタン	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.3
33 クミルロン	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
34 グリホサート	—	—	—	—	2
35 グルホシネート	—	—	—	—	0.02
36 クロメブロップ	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
37 クロロニトロフェン(CNP)	—	—	—	—	0.0001
38 クロルピリホス	—	—	—	—	0.003
39 クロタロニル(TPN)	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
40 シアナジン	0.00001未満	0.00001未満	0.00001未満	0.00001未満	0.001
41 シアノホス(CYAP)	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.003
42 ジウロン(DCMU)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
43 ジクロベニル(DBN)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
44 ジクロルボス(DDVP)	0.00008未満	0.00008未満	0.00008未満	0.00008未満	0.008
45 ジクワット	—	—	—	—	0.01

採水地点	ゴルフ場 最終調整池	石狩川 流入口	石狩川浄水場 取水口	石狩川浄水場 送水	目標値 (mg/L)
46 ジスルホトン(エチルチオメトン)	—	—	—	—	0.004
47 ジチオカルバメート系農薬	—	—	—	—	0.005
48 ジチオピル	0.00009未満	0.00009未満	0.00009未満	0.00009未満	0.009
49 シハロホップブチル	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.006
50 シマジン(CAT)	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.003
51 ジメタメトリン	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
52 ジメトエート	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
53 シメトリン	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
54 ダイアジノン	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.00003未満	0.003
55 ダイムロン	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.8
56 グリホサート、ピラミ(カーベム)及びメチルイソシアナート	—	—	—	—	0.01
57 チアジニル	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
58 チウラム	—	—	—	—	0.02
59 チオジカルブ	—	—	—	—	0.08
60 チオファネートメチル	—	—	—	—	0.3
61 チオベンカルブ	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
62 テフリルトリオン	—	—	—	—	0.002
63 テルブカルブ(MBPMC)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
64 トリクロピル	—	—	—	—	0.006
65 トリクロルホン(DEP)	—	—	—	—	0.005
66 トリシクラブール	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
67 トリフルラリン	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.06
68 ナプロバミド	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
69 パラコート	—	—	—	—	0.01
70 ビペロホス	—	—	—	—	0.0009
71 ビラクロニル	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
72 ビラゾキシフェン	0.00004未満	0.00004未満	0.00004未満	0.00004未満	0.004
73 ビラゾリネート(ピラゾレート)	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
74 ビリダフェンチオン	0.00002未満	0.00002未満	0.00002未満	0.00002未満	0.002
75 ビリブチカルブ	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
76 ピロキロン	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
77 フィプロニル	—	—	—	—	0.0005
78 フェントロチオン(MEP)	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
79 フェノブカルブ(BPMC)	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
80 フェリムゾン	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
81 フェンチオン(MPP)	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.00006未満	0.006
82 フェントエート(PAP)	0.00007未満	0.00007未満	0.00007未満	0.00007未満	0.007
83 フェントラザミド	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
84 フサライド	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
85 ブタクロール	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
86 ブタミホス	—	—	—	—	0.02
87 ブプロフェジン	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
88 フルアジナム	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
89 プレチラクロール	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
90 プロシミドン	—	—	—	—	0.09

採水地点	ゴルフ場 最終調整池	石狩川 流入口	石狩川浄水場 取水口	石狩川浄水場 送水	目標値 (mg/L)
91 プロチオホス	—	—	—	—	0.007
92 プロピコナゾール	—	—	—	—	0.05
93 プロピザミド	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.05
94 プロベナゾール	—	—	—	—	0.03
95 プロモブチド	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
96 ベノミル	—	—	—	—	0.02
97 ペンシクロン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
98 ベンゾビスクロン	—	—	—	—	0.09
99 ベンゾフェナップ	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.005
100 ベンタゾン	—	—	—	—	0.2
101 ペンディメタリン	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.3
102 ベンフラカルブ	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
103 ベンフルラリン(ベスロジン)	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.0001未満	0.01
104 ベンフレセート	0.0007未満	0.0007未満	0.0007未満	0.0007未満	0.07
105 ホスチアゼート	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.005
106 マラチオン(マラソン)	—	—	—	—	0.7
107 メコプロップ(MCPP)	—	—	—	—	0.05
108 メソミル	—	—	—	—	0.03
109 メタラキシル	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.2
110 メチダチオン(DMTP)	—	—	—	—	0.004
111 メトミノストロピン	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.04
112 メトリブジン	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.03
113 メフェナセツ	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.02
114 メプロニル	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1
115 モリネート	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.005

8 航空防除に伴う農薬検査

(1) 概況

7月中旬から8月中旬にかけて、石狩川・忠別川浄水場取水口の上流域である比布町及び東神楽町において、航空防除による農薬散布が実施された。航空防除は広範囲を短時間で農薬散布するため、水道水源に農薬が混入するおそれがある。そのため本市では、散布日にあわせて散布される農薬を検査している。

令和7年度は、比布町で4回、東神楽町で3回に分けて航空防除が実施され、本市ではこれに合わせて浄水場の原水及び送水について、散布農薬成分のうち、検査が可能なフサライド、フェニトロチオン、トリシクラゾールについて検査を行った。

また、7月及び9月には水質管理目標設定項目15の対象農薬リストのうちの70項目、要検討農薬のうちの6項目、その他農薬類のうちの37項目の検査も合わせて行った。

農薬散布については、関係機関及び団体と連絡を密にとり、緊急時の連携等安全対策の徹底を図り、浄水場での活性炭注入による対応により安全な水の供給に取り組んでいる。

(2) 散布実施日、散布農薬成分と特性

ア 比布町

(ア) 散布実施日

第1回 7月13日～14日

第3回 7月27日～31日

第2回 7月20日～21日

第4回 8月4日、6日、10日

(イ) 散布農薬

使用農薬	散布日	用 途	成 分	対象病虫害	毒性分類
エクシードフロアブル	第1回	殺虫剤	スルホキサフロル 20.0%	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	普通物
ビームエイトゾル	第1回	殺虫剤	トリシクラゾール 8.0%	いもち病	普通物
ダブルカットレボソフロアブル	第2回	殺虫殺菌剤	エトフェンブロックス カスガマイシンー塩酸塩 トリシクラゾール 10.0% 1.37% 8.0%	いもち病 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	普通物
アミスタートレボソSE	第2回	殺虫殺菌剤	エトフェンブロックス アゾキシストロビン 10.0% 8.0%	いもち病 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	普通物
ビームエイトエクシードゾル	第3回	殺虫剤	スルホキサフロル トリシクラゾール 10.0% 8.0%	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	普通物
トップジンMゾル	第3回	殺菌剤	チオファネートメチル 50.0%	いもち病 変色米 墨黒穂病 紋枯病	普通物
スミチオン乳剤	第3回	殺虫剤	MEP 50.0%	ニカメイチュウ カメムシ類 他	普通物
キラップフロアブル	第4回	殺虫剤	エチプロール 10.0%	カメムシ類 ウンカ類 イネドロオイムシ	普通物
ブラシンゾル	第4回	殺虫剤	フェリムゾン フサライド 15.0% 15.0%	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	普通物

イ 東神楽町

(ア) 散布実施日

第1回 7月21日、23日

第2回 7月31日、8月3日

第3回 8月5日、10日、12日、13日

(イ) 散布農薬

使用農薬	散布日	用 途	成 分	対象病虫害	毒性分類
ビームエイトEXゾル	第1回	殺虫剤	スルホキサフロル トリシクラゾール	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	普通物
ブレードスタークルゾル	第2回	殺虫殺菌剤	ジノテフラン フェリムゾン フサライド	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	普通物
エミリアフロアブル	第3回	殺虫殺菌剤	フルピリミン	ウンカ類 カメムシ類	普通物
ブラシンフロアブル	第3回	殺菌剤	フェリムゾン フサライド	いもち病	普通物

(3) 検査方法

水質管理目標設定項目15の対象農薬は公定法に基づき、GC-MS及びLC-MSで検査した。

(4) 検査結果

石狩川浄水場原水9回、送水10回、忠別川浄水場原水9回、送水10回の検査を行ったが、両浄水場送水の農薬成分は全て定量下限値以下であった。

